

令和7年度 つばさ南小・つばさ北小の統合による 小中一貫教育校に関する説明会の開催状況について

教育委員会では、6月から7月にかけて、未就学児及び小・中学生の保護者及び、地域住民の皆さんを対象に、小中一貫教育校に関する説明会を実施しました。説明会の主な内容をお知らせします。

I 開催状況

●保護者説明会

開催日	対象	時間	場所	参加者	質問数
6月20日(月)	伊草小学校保護者	19:00~20:10	伊草小体育館	8	3
6月21日(火)	中山小学校保護者	19:00~20:15	中山小体育館	9	12
6月22日(水)	川島中学校保護者	19:00~20:45	川島中体育館	9	19
6月23日(木)	西中学校保護者	19:00~20:00	西中体育館	3	4
6月25日(土)	けやき・さくら 保育園保護者	10:00~11:15	川島町コミセン	17	12
6月28日(火)	とねがわ幼稚園 保護者	10:00~11:05	とねがわ幼稚園	26	8
6月30日(木)	つばさ南小学校保護者	19:00~20:15	つばさ南小体育館	22	11
7月1日(金)	つばさ北小学校保護者	19:00~21:00	つばさ北小体育館	29	23
合計				123	92

◆地域住民説明会

開催日	対象	時間	場所	参加者	質問数
7月17日(日)	町内在住者	10:00~12:05	川島町コミセン	32	14
7月23日(土)	町内在住者	10:00~11:10	川島町コミセン	17	13
合計				49	27

II 説明内容

1. 町の教育環境整備について
2. 小中一貫教育とは
3. 小中一貫教育を進める背景・理由
4. 小中一貫教育校の校舎整備イメージ
5. 小中一貫教育でやること できること



●資料は右のQRコードからご覧になれます →



問合せ

教育総務課
学校統合グループ
☎049-299-1730 (直通)

Ⅲ 説明会での主な質問や意見



～ 令和7年度を目途とする ～

1. つばさ南小とつばさ北小の統合による川島中学校の小中一貫教育校化について

Q1 どのような整備を予定していますか？

A1 体育館の南側に、小学1年生から4年生が学習する校舎の増築や、既存の中学校校舎の職員室拡張、小学生に合わせた教室の改修、トイレの洋式化や、電灯のLED化といった老朽箇所の更新も予定しています。

Q2 放課後児童クラブ（学童保育）はどのようになりますか？

A2 増築する校舎への設置や下校時に既存の放課後児童クラブにスクールバス等で送ることを検討していきます。

Q3 財政的な負担はどのように考えていますか？

A3 つばさ南小・つばさ北小が統合され、廃校になると、2校で年間500万円ほど修繕費等を削減することが可能です。また、校務員などの人件費や教材の購入費などが100万円ほど削減され则认为ています。さらに学校施設は20年に一度は、老朽化に伴う大規模な改修が必要となります。なお、2校の大規模改修費用は約4億円と見込まれています。そのため、施設を廃止することで、大幅な経費の削減を見込んでいます。

小中一貫教育校の開校には、施設整備などで大きな経費が必要となりますが、長期的に見れば、財政的な負担は軽減できると考えています。

Q4 小学生と中学生が同じグラウンドを使用することで危険はありませんか？

A4 体育の授業では時間割を調整し、小・中学生の活動が重ならないよう配慮します。また、放課後は中学生が部活動でグラウンドを使用しますが、安全に配慮して、中学校の部活動で総合グラウンドや町民体育館の活用も検討します。

Q5 スクールバスの利用対象者を教えてください。

A5 令和7年度以降のスクールバスの利用対象者や運行ルートなどの具体的な内容は、来年度につばさ南小とつばさ北小を統合するための協議会を設置し、協議会を中心に検討していきます。

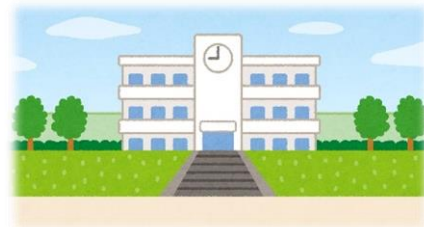
Q6 プールでの水泳授業はどのようになりますか。

A6 中学校のプールは水深が深いことから、小学生の水泳授業の際には、小学生の体格に合わせたプール設備の対応や中山小学校や伊草小学校のプールで、合同での水泳授業の実施などを検討します。

また、民間のスイミングスクールと連携し、民間のスイミングスクール施設での水泳授業も検討していきます。

Q 7 小学生向けの遊具の設置は考えていますか。

A 7 増築する校舎の南側に5基程度設置する予定です。



2. 「小中連携教育」と「小中一貫教育」の違い

Q 1 川島中学校区で行う「小中一貫教育」と、西中学校区で行う「小中連携教育」では、教育内容に差が出るのではないのでしょうか？

A 2 小・中学校の施設が離れている中で行う「小中連携教育」と、小・中学校の施設が一体となった中で行う「小中一貫教育」のどちらも同じ教育目標を掲げ「小中一貫教育校」として開校を目指します。特に、「小中連携教育」では、学校が離れていても、教員の連携と交流を活発に行い、質の高い教育を目指します。

Q 2 伊草小学校の卒業生は、川島中学校と西中学校に進学しますが、どのように考えていますか？

A 2 伊草小学校の一部の児童は中学生になってから、川島中学校に設置される小中一貫教育校に通学します。そのため、伊草小では、つばさ南小・北小・川島中との交流を多く取り入れたいと考えています。具体的には、中学校体験、希望制による部活動への参加、川島中と西中の先生の乗り入れ授業、さらに学習用端末を活用したオンラインでの交流授業も取り入れます。



3. 令和 17 年度を目途とする、一校に集約した小中一貫教育校

Q 1 令和 17 年度には町内全小中学校が 1 校になるのでしょうか？

A 1 令和 3 年 3 月に町が策定した「川島町公共施設個別施設計画」では、町内の小中学校は、令和 1 7 年度を目途に 1 校体制に集約し、川島中学校周辺に整備するとしています。これは、方向性を示したものであり、決定したものではありません。

今後、保護者や地域の皆様からの意見を踏まえ、設置場所や整備内容を慎重に検討していきます。



4. その他

Q 1 廃校後のつばさ南小・つばさ北小施設の利用はどのように考えていますか？

A 1 旧出丸小・旧小見野小は、地域の皆様からの意見等を踏まえ、現在、避難所としての機能を持たせつつ、地域の皆様が様々な目的で利用できる施設として開放しています。町の公共施設個別施設計画では、財政負担軽減のために、売却や譲渡も検討するとありますが、地域の皆様からの意見等踏まえ、検討していきます。

Q2 小中一貫教育が狙いとしている「質の高い教育」とはどのようなものですか？

A2 教育委員会では、小中一貫教育による「質の高い教育」について、現在の「6（年）－3（年）制」を小中一貫教育による「4（年）－3（年）－2（年）制の区切り」にすることで、子供たちの発達段階に応じた学習や生徒指導の体制を明確にすることができると考えています。また、小中学校の教員が乗り入れ授業を行うことで、教科（英語・数学・理科・音楽・体育等）の専門性を活かした、一人ひとりを大切に、きめ細かな指導（特別支援教育・教育相談等）ができると考えています。

Q3 小中一貫教育のデメリットは何ですか？

A3 小中一貫教育のデメリットの1つとして、小学校5、6年生のリーダー的資質が育ちにくいということが挙げられます。その対応策として、運動会などの行事を小学生と中学生で別々に実施することで、小学校5、6年生のリーダー的資質を育みます。また、リーダー的資質を早期に育むために、小学生4年生を中心とした行事等の計画も検討します。

Q4 小中一貫教育校開校の計画を見直すことはありますか？

A4 教育委員会では、平成30年度につばさ南小学校とつばさ北小学校が開校した後、小中一貫教育推進協議会を設置し、県内外の先進事例の視察や協議を重ね、令和4年3月に「小中一貫教育校開校に向けて（まとめ）」を作成しました。文部科学省では、小中一貫教育により、「中学校への進学に不安を持つ児童が減少した」「学習意欲が向上した」「教員、保護者の学校への満足度が高まった」など、顕著な成果が明らかになってきているとしており、また、視察した先進校でも大きな教育的効果が示されております。

なお、令和7年度を目途とした小中一貫教育校開校に向け、統合対象としているつばさ南小学校とつばさ北小学校では、児童数が減少し、この2校は規模の適正化が必要であることは明らかとなっています。

このため、令和7年度に、つばさ南小学校とつばさ北小学校の2校を統合し、川島中学校との小中一貫教育校の開校を目指して、準備を進めていきます。

●説明会の詳細については、町ホームページをご覧ください。→



●小中一貫教育校の開校について、皆様のご意見をお聞かせください。→



●問合せ 川島町教育委員会 教育総務課 学校統合推進室 ●

TEL : 049-299-1730 (直通) ●FAX : 049-297-8410

E-Mail: gakkou@town.kawajima.saitama.jp

